

第3回教育委員会定例会
平成31年2月14日
教育部学務課

小・中学校の卒業式、入学式の告辞（案）について

告 辞（案 小学校・卒業式）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今、卒業証書を手に行っている皆さんの心には、小学校生活での数々の出来事が思い起こされていることでしょう。先生方の教えを受け、友達と考えを伝え合い、学びを深めた学習への取組。委員会活動やクラブ活動、学校行事など、友達と協力して成し遂げた様々な経験。みなさんは多くの人の関わりの中で、自分で考える確かな学力や、他人を思いやるやさしい心、スポーツに親しむ意欲と体力を身に付けてこられました。立派に成長した自分に、どうぞ自信と誇りをもってください。

それとともに、先生方をはじめ、職員の方々、地域の方々、そして今日の卒業の日を、誰よりも喜んでくださっているご家族の方々が、皆さんの成長を見守り、励まし続けてくれたことを忘れずにいてください。そして、ぜひ、「ありがとうございます」という感謝の気持ちを伝えてください。

立川市では、「まちを知り、まちに関わり、まちに貢献する」多様な学びを通してまちの担い手となる市民の育成を目指し、「立川市民科」の授業を市内全小・中学校で展開しています。「立川市民科」の学習を通して培った、地域の文化やそこで暮らす人々に対して誇りと愛着を持つことは、大人になって世界の人と一緒に活躍するための基盤として、とても大切なことです。

皆さんは、四月から、いよいよ中学生です。中学校での三年間は、社会のためにすすんで行動ができる力を身に付ける、大切な時期です。思うように事が進まないこともあるかもしれませんが、しかし、そんなときでも、

自らすすんで取り組もうとする気持ちを持ち続け、自分の良さを、さらに輝かせていく、強い心の持ち主になってください。

そして、自分と共に、友達や周りの人たちを大切にすることを常に心に留め、「立川市民科」を通して学んだ地域を思う気持ちを胸に、より良い社会づくりに向け、生き抜く力をさらに大きく育てていくことを期待しています。

保護者の皆様方におかれましては、お子様が晴れの卒業の日を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。この六年間、お子様を温かく見守り、支えていただきながら学校をご支援いただきましたことに感謝申し上げますとともに、今後も引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめとする教職員の皆様、そして本校のために、様々な方面からご支援、ご協力いただきました地域の皆様方に感謝を申し上げます、告辞といたします。

平成三十一年三月二十五日

立川市教育委員会

告 辞（案 中学校・卒業式）

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。

九年間の義務教育の全課程をめでたく修了されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

さて、これまでのがんの治療法とは全く違うアプローチの治療法を開発し、その功績が認められ、二〇一八年のノーベル生理学・医学賞を本庶 佑（ほんじよ たすく）さんが受賞しました。

本庶さんは受賞の会見の中で、「不思議だなと思う心を大切に。自分の目でものを見る。そして納得する。そこまで諦めない。」と述べられています。

この言葉は、研究者を目指す若者に向けられた言葉ですが、インターネットによる情報が溢れている現代社会において、情報を鵜呑みにせず、本質を問う気持ちをもって研究に臨むという姿勢は、みんなが今後学習を進めていくうえで、とても参考になると思います。皆さんは中学校卒業後も様々な学習をしていきます。そのとき、本庶さんの研究のように、本質にせまる学習態度を身につけていってください。

また、皆さんは、「まちを知り、まちと関わり、まちに貢献する」多様な学びを通して、まちの担い手となる市民の育成を目指し、「立川市民科」の学びに取り組んできました。

例えば、皆さんもこの三年の間に、地域学習を進めたり、地域の方から学んだり、ボランティア活動に取り組んだりした記憶があると思います。そのような活動の一つ一つが皆さんの視野を広げ、まちとの関わりを深めていくことにつながりました。そして、働くことの意義を学び、自分の将来の姿を考えさせられた職場体

験、仲間と協力しながら取り組んだ部活動、このような体験を通して、それぞれの地域の良さを再発見し、主体的にまちに貢献しようとする心を育んできました。これら、中学校三年間、義務教育九年間の学びを通して培った「確かな力」をよりよい社会づくりに向け、存分に発揮してくれるものと期待しています。

保護者の皆様におかれましては、義務教育を立派に終えられ、卒業証書を手にしたお子様をご覧になり、お喜びもひとしおのことと存じます。誠におめでとうございます。お子様の卒業後も学校は地域の要として、地域に貢献してまいります。今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、これまで熱心にご指導いただきました校長先生はじめ教職員の皆様、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げますとともに、改めて卒業生の皆さんの前途を祝して告辞といたします。

平成三十一年三月二十日立川市教育委員会

告 辞（案 小学校・入学式）

一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは今日から小学生です。小学校では勉強や運動をしたり、友達と遊んだりと、楽しいことがたくさんあります。勉強や運動を教えてくださいさる先生方がいらっしやいます。たくさんのお兄さん、お姉さんたちがいます。みんな、皆さんと会える今日の日を楽しみにしていました。もしも困ったことや分からないことがあったら、先生方やお兄さん、お姉さんたちに聞いてください。きっと優しく教えてくれます。

これから、皆さんに、素敵なお話になってもらうために、三つのお願いをします。

一つ、先生や友達のお話を、しっかりと聞きましょう。お話をよく聞いて、よく考えると、勉強がよく分かるようになります。そして、お話をしてくれた人の心が、とても温かく、優しくなります。お話をよく聞いて、温かい、優しい心の人をたくさん増やしていきましょう。

二つ、友達と仲良くしましょう。友達とたくさんお話をしたり、一緒に遊んだりして、みんなと仲良くなってください。

三つ、先生や友達、お世話になる人たちに、元気な挨拶をしましょう。学校の中だけでなく、皆さんの通学を見守ってください、学校のために働いてくださる方が、学校の外にもたくさんいます。「あ

りがとうございます」の気持ちを込めて、大きな声で、元気に挨拶ができる小学生になってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

日本には、春、夏、秋、冬という四季があります。子どもたちには、この日本の素晴らしい四季を、優しい、豊かな心で感じながら、学力や体力の向上を目指して主体的に学べるよう教育に取り組んでまいります。また子ども達がより良い社会づくりの担い手となるために「まちを知り、まちと関わり、まちに貢献する」多様な学びを立川市民科の中で学んでいきます。

また、今年度は四月で平成が終わり五月からは新たな時代が始まります。保護者の皆様、地域の皆様、学校、教育委員会の四者が手を携えて、子どもたちが、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育み、身に付けたこれらの力を、存分に発揮することができるよう、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様には、子どもたち一人一人が、充実した学校生活を送れるよう、温かくご指導くださいますようお願い申し上げます、告辞いたします。

平成三十一年四月八日

立川市教育委員会

告 辞（案 中学校・入学式）

新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。

皆さんは、今日から始まる中学校生活に、期待と希望に、胸を膨らませていることと思います。

中学校の三年間は、新しい知識や技能を身に付け、豊かな人間性が育つ大切な時期です。

自分の目標をしっかりと持ち、すすんで学習や運動に取り組み、学ぶことの厳しさや楽しさを体験して、確かな力を付けていってください。

さて、今年の2月2日に小学校科学教育センターの閉講式で、2003年に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ」を開発した的川泰宣（まとがわ やすのり）さんのご講演がありました。新入生の皆さんの中にもセンター員として出席した人がいると思います。「はやぶさ」とは、小惑星に接近して表面を観察し、サンプルを採集して地球に帰還するという、世界で初めての偉業を成し遂げた探査機です。実はこの探査機の開発には研究者たちはもとより、全国の町工場の職人の皆さんが、それぞれの技術と知恵を集めて開発したというお話がありました。最終的に成功させたのはチームとしてのまとまりと熱意だということです。

皆さんもこれからの中学校生活で、初めてのことや難しいこ

とに何度となく挑戦することになるでしょう。そのときは、周りにいる友達と知恵を出し合い、「はやぶさ」のように困難を乗り越えて前進して行ってください。そして皆さんが、小学校で取り組んだ立川市民科の学びを地域貢献活動などを通して実践し、よりよい社会づくりに向け、活躍してくれることを期待しています。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校の三年間は、子どもたちにとりまして、もの見方や考え方の広がる時期です。特に、心の発達の著しい時期であるだけに、迷ったり悩んだりする時期でもあります。

ご家庭におかれましても、お子様の願いや思いを受け止め、よりよい生活習慣が築かれるように、努めていただきたいと思えます。そして、学校としっかりと連携し、子どもたちの健やかな成長のため、学校教育へのご理解とご協力を、お願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様、そして、地域の皆様に対しまして、子どもたちへ深い愛情を寄せられ、よりよい校風を築いていかれますよう、お願い申し上げます。告辞といたします。

平成三十一年四月九日

立川市教育委員会